

40<sup>th</sup>  
Anniversary

ふるさと宮まつり  
40年のあゆみ

# 宮ふるさと まつり



であいとふれあいの広場

1976 昭和51年



平成27年 2015





## ふるさと宮まつり

宇都宮市長 佐藤 栄一



「ふるさと宮まつり40年のあゆみ」の発行、誠におめでとございます。発行にあたり、御挨拶を申し上げます。

「ふるさと宮まつり」は、昭和51年の宇都宮市制施行80周年の年に、宇都宮青年会議所創立10周年の記念事業として初めて開催されました。当時は、急激な都市化の波が押し寄せ、時代の変遷とともに、地域社会における人々の交流が減少しつつあった時期であり、市民同士の心のふれあいの機会を求め、大通りを歩行者天国にして、交流の場を作ろうと誕生したお祭りであります。

当初、1回のみで開催予定でありましたが、継続開催を願う市民の後押しと関係者の熱意により、その後も歴史を重ね、今年

で記念すべき40回を迎えることとなりました。私も青年会議所の理事長として、「宮まつり」の運営に携わらせていただいた時期がございますが、当時の苦労や達成感、私の貴重な財産となっております。

このお祭りが、ここまで発展し続けることができたのも、開催委員会を構成している宇都宮青年会議所、宇都宮商工会議所、宇都宮青少年団体連絡協議会、宇都宮観光コンベンション協会をはじめとする多くの関係者の皆様の御苦勞、御協力のおかげであり、この場をお借りして、改めて御礼を申し上げます。

このように多くの皆様に支えられ、親しまれてきた「宮まつり」は、現在では、北関東最大規模の市民の祭りに成長し、市内

はもとより県内外からも多くのお客様を迎える本市の夏の風物詩になっております。家族や仲間とともに宮まつりを見に行く、みこしやパレードなどに参加する、運営に参画するなど、その関わり方は様々ではありますが、私たち「宮っこ」にとっても、この「宮まつり」は、大切な夏の思い出として刻まれていると実感しております。

今後とも、歴史ある「ふるさと宮まつり」が、益々大きく発展し、末永く継続してまいりますよう、市としても応援してまいります。

結びに、「第40回ふるさと宮まつり」が例年にも増して盛大に、そして、安全に開催され、祭りのテーマでもある「であいとふれあい」が深められますことを御祈念申し上げます。

## 第40回宮まつりにむけて

第40回ふるさと宮まつり  
開催委員会実行本部長

須山 裕史



第40回ふるさと宮まつり開催委員会実行本部長を拝命いたしました、公益社団法人宇都宮青年会議所第49代理事長の須山裕史と申します。

宇都宮の夏の風物詩として、多くの市民の皆様が期待されておりますふるさと宮まつりも、今年で第40回を迎えます。「であいとふれあいの広場」という変わらぬテーマの下、近年は60万人以上の観客と参加者が一体となって作りあげてまいりました。そのサポートをすることが、私たち実行本部の使命だと感じております。

歴史を紐解きますと、ふるさと宮まつりは、昭和51年に宇都宮青年会議所（JC）

創立10周年記念事業として開催されました。現在は宇都宮JCだけでなく、多くの団体やボランティアの皆様と役割を分担して実行本部を形成しており、宇都宮JCは企画と運営の部分を担わせていただいております。宇都宮JCメンバーとい

たしましても、ふるさと宮まつりに関わることは、人材育成や自己成長できる素晴らしい機会だと考えており、今年もメンバー一丸となって企画・運営に携わらせていただきます。

今年も、安全面を第一に考え、警察関係の皆様やボランティアの皆様と協力し、観客と参加者の皆様に事件・事故のない宮ま

つりを作り上げていきたいと考えております。また、今年は節目の年ということもありまして、山車屋台の出場が予定をされており、今年の見どころの一つとしてぜひご期待ください。

ふるさと宮まつりは、行政関係、警察関係の皆様はもちろんのこと、多くの企業、団体、自治体、ボランティアの皆様のご協力があつて成り立っております。皆様のご協力に心より感謝いたしますとともに、第40回ふるさと宮まつりを大成功に導くことをお誓い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。



40<sup>th</sup>  
Anniversary



# 宮まつり



写真でみる40年のあゆみ

column

## まちづくり論から視る「宮まつり」の今日的意義と意味

「市民による市民のためのまつり」が宮まつりの土台を形成し、その推進力となっている「精神」です。「まつり」とは神を祀ることでありその儀式を指すのですが、宮まつりは「ヒトビトの交流を促し、そこから新たな地域価値が創出される」ことに、その今日的意義と意味を見出すことができます。宮まつりの舞台はJR宇都駅西口の大通り。つまり、中心街のメインストリートが2日間にわたって、歩行者天国、カーフリーゾーン（car free zone）になる訳です。歩行者天国が初めて実施されたのは、ニューヨーク市五番街。日本では同年に銀座などで試みられました。それから6年

後の1976年に第一回の宮まつりが開催されたのです。中心街のメインストリートが2日間にわたってカーフリーになると自体が、過度に車依存になっている宇都宮のまちづくりにとって大きな意義を持っていきます。車依存ではない暮らしのあり方や楽しさを伝えるメッセージ性がそこにはあるのです。第一回宮まつりから34年後の2010年、西口大通りを舞台にしたジャパンカップクリテリウムが開催されました。宮まつりで培われたノウハウがこの世界的なイベントを可能にしたのであり、中心市街地ならではの非日常性（ハレ）とその可能性を象徴していると言えるでしょう。

また、宮まつりは、公共空間とは何か、公共財の利用はどうあるべきか、という貴重な問いを私達に発信しています。人口減少、超高齢化、孤独死、貧困化など、地域社会が直面する問題は深刻かつ多様になっていきます。それに対峙するためにもコミュニティの重要性が増してきます。人と人のつながりが求められている今日、懐深く誰でも参画できる「宮まつり」は、世代を超えた交流を促進する公共空間の有り様と、そこで展開される「市民による市民のためのまつり」の理想像を提示しているのです。

※この点について関心のある方は、馬場正尊+Open A『公共空間のリノベーション』（学芸出版社、2013年9月）をお勧めします。



宇都宮まちづくり推進機構  
宮再発見専門委員会委員長  
宇都宮大学教育学部教授

陣内 雄次 さん

市民主体のまちづくり、住宅政策、地方の都市計画論、まちづくり学習、NPO論、ESD（持続可能開発の教育）などを主な研究テーマとする。主な履歴としてアメリカ、カナダの大学及び大学院にて都市計画・地域計画を専攻。1998年、学術博士（金沢大学）。1999年、宇都宮大学教育学部家政教育専攻（住環境・まちづくり研究室）赴任。2014年、宇都宮大学学長補佐。所属団体としてNPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事長。NPO法人大谷石研究会理事。NPO法人うつのみや環境行動フォーラム理事。NPO法人アスク理事。うつのみや・街・景観フォーラム代表など。主な著書に『まちづくり教科書第6巻まちづくり学習』（共著 丸善 2005）『コミュニティ・カフェと市民育ち』（共著 朝文社 2007）『地方都市の再生戦略』（共著 学芸出版社 2013）など。



1976 (昭和51年)

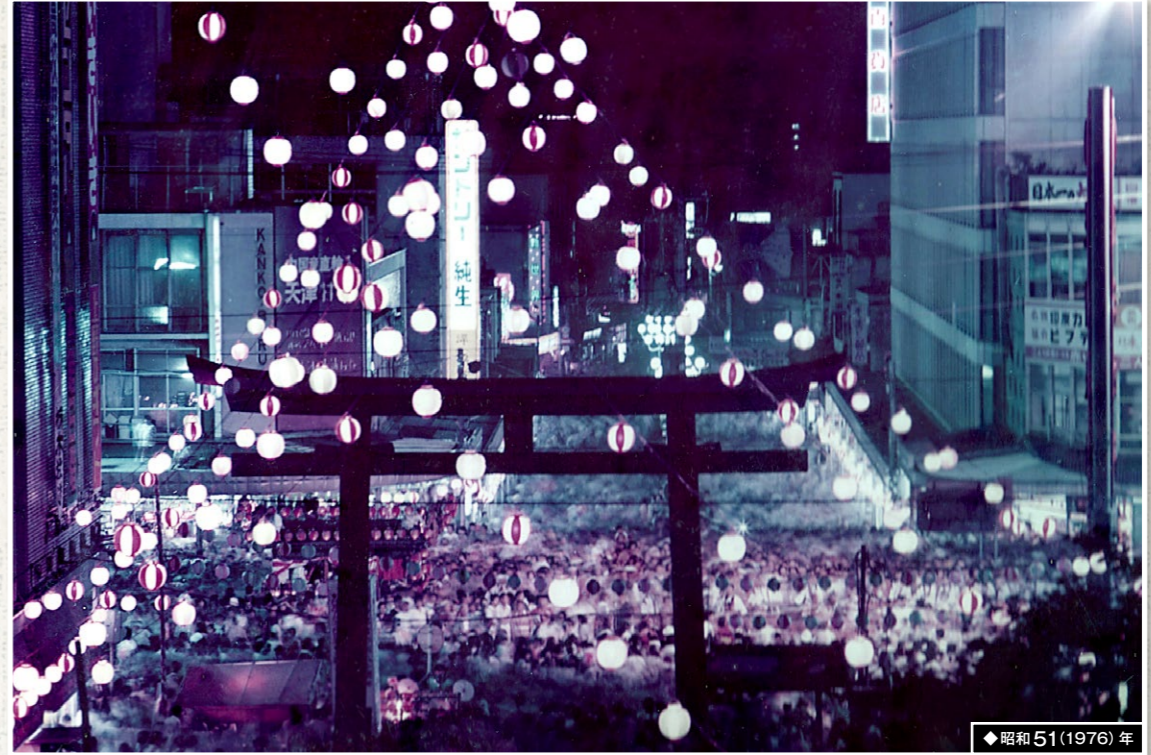
1995 (平成7年)



◆平成6(1994)年



◆昭和51(1976)年



◆昭和51(1976)年



◆昭和51(1976)年



◆平成2(1990)年



◆平成6(1994)年



◆昭和51(1976)年



◆平成2(1990)年



◆昭和51(1976)年



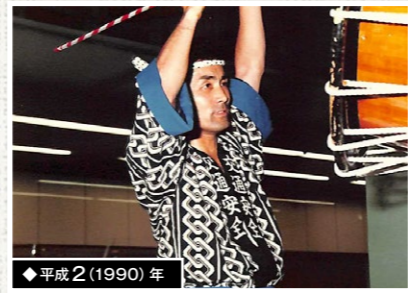
◆昭和51(1976)年



◆平成2(1990)年



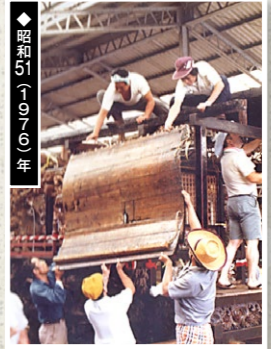
◆平成6(1994)年



◆平成2(1990)年



◆平成2(1990)年



◆昭和51(1976)年





◆平成11(1999)年



◆平成17(2005)年



◆平成17(2005)年



◆平成17(2005)年



◆平成17(2005)年



◆平成16(2004)年



◆平成16(2004)年



◆平成17(2005)年



◆平成17(2005)年



◆平成16(2004)年



◆平成17(2005)年



◆平成17(2005)年



◆平成17(2005)年



◆平成17(2005)年



◆平成11(1999)年

ふるさと宮まつり40年のあゆみ

写真でみる40年のあゆみ

1996〔平成8年〕 — 2005〔平成17年〕

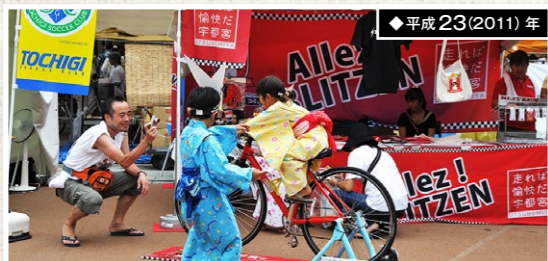




2006 (平成18年)

2009 (平成21年)





2010 〈平成22年〉

2014 〈平成26年〉



40<sup>th</sup>  
Anniversary

ふるさと宮まつり  
インタビュー



# 宮まつり

## 「宮まつり」とインパクト評価の必要性

1970年に開催された「日本万国博覧会」。「お祭広場」では、様々な催しが行われたが、その中でも、全国各地の祭礼（秋田の竿燈・山形の花笠音頭等）が目玉となった。当時小学生だった私は、「お祭が外へ出ても良いんだ！」と驚いた。これは、地域の祭礼行事が地元を離れ、他地域で「イベントツール」として活用することが解禁された画期的な出来事であったと思う。これを機に、全国各地で「祭礼」をイベントとして活用する事象が起り始めるが、1976年に「市民まつり」として開催された「宮まつり」も例外ではない。宇都宮市青年会議所10周年記念事業の一環として「市民総ぐるみのイベント」をキーワードに開催された第1回には「音楽パレード」「神輿巡行」などのプログラムが企画されており、現在に繋がる骨格を形成している。予算は2千万円、来訪者数は40万人と記録に残っている。

2003年に実施した調査によると、約38haの会場に、地元営業店143、祭対応店20、閉店256、露天商168、という状況の中、市民一人あたりの平均消費額が841円（露天商577円・地元商店264円）で、露天商での購入比率が高く、総消費金額は推計で約1億4千万円となった。この数字は、当該調査による来訪者推計数を16万7千人とした場

合である。主催者発表の来訪者数55万人とは大きな開きが出た。魅力度で測ると、基本的な要因（「荒山神社等」以外では「露天商」の魅力が高く「催し物」の魅力を上回る結果となった。また、市内からの来訪者は72%であり、10代・20代が全体の60%を越え、若者の来訪が多く、40代以上の来訪が少ない。イベントは「開催すること」だけが目的ではない。開催によるインパクト（影響）が重要な「宮まつり」も40回を迎えるにあたり、来場者数を含め、現状を素直に把握し、見直すことで、より魅力的なイベントへと進化することを期待したい。

### （有）マスタープラン代表取締役 高岡 耕子 さん



宇都宮市出身。マーケティングプランナー。主に栃木県内の農産物消費拡大を目的としたマーケティングやプランニング、イベント運営などを行う。42歳の時、社会人として宇都宮大学大学院工学研究科博士課程に入学。卒業後、まちづくりに関わる活動を開始。宇都宮市の生涯教育課「人材かがやきセンター」「市民大学」などの講師を務める。主な講義に「レンズから見た宇都宮」「まちなかでスローな夜を過ごしませんか」「女性のためカフェ学入門」ほか。研究論文は「イベントのインパクト調査に関する研究」「来訪者からみた祭りの便益に関する比較研究」など。日本都市計画学会、日本観光研究学会会員。工学博士。（情報制御システム科学）そして日タスーパー巡りをする主婦。



Interview

宇都宮青年会議所の創立10周年記念事業の宮まつりは、最初は「大通り歩行者天国」という発想でした。浜松市の祭りを視察し、「歩行者天国だけではもったいない」との思いから「山車やみこしなど郷土のものにも出てもらう」ということになり、宮まつりの形ができたわけです。

入梅の頃が実施の最終決定時期でした。相当の事業規模のため、決断には迷いもありました。たまたま佐々木理事長とドックに入ることになり、徹夜で議論の末、私が寄り切られました。実施に当たっても全てが初めてのことで、毎日が必死でした。特に資金調達に死に物狂いでした。一軒、一軒、軒並みお願いに歩きました。

宮まつり当日は10万人くらいの人出の想定でした。旧仲見世のパンパ通りで指揮を執っていたのですが、あまりの人の多さに足がすくんだことが忘れられま

せん。旧仲見世通りからみこしがでるはずだったのですが、あまりの人出で動きがとれなかったほどでした。

当初は一度限りの予定でしたが、「ぜひ継続を」との声に継続開催となりました。第2回目は私が実行委員長を務めました。

オープニングにマーチングを入れました。数年後、宇都宮のマーチングは全国レベルになりました。宮まつり参加のために猛練習した成果でしょう。昭和55年、栃の葉国体「身障者スポーツ大会」で後夜祭の実行委員長を務めました。宮まつりで培ったノウハウが活きました。

「同じ事の繰り返しで歴史ができる」という思いが皆にありました。出会い、ふれあいを大切にして回を重ねることが大切。「ふるさと宮まつり 出会いとふれあいの広場」、更に歴史を刻んでほしいものです。

○ 予想以上の人出に足すくむ

八城 光男 さん(73歳)  
昭和52年第2回ふるさと宮まつり実行  
本部長を務める。現在ふるさと宮まつ  
り開催委員会監事。五十一年電気工事係  
代表取締役。



Interview

10代目理事長として、昭和51年にまず10周年の式典を考えました。当時、経済成長で人の心を忘れがちになったと感じていたので、記念講演はふるさとを再認識しようじゃないかということで、当時参議院議員でNHKの元アナウンサーだった宮田輝さんに講師を頼み、「しもつかれの味」という演題で話をさせていただきました。記念事業は、宮田さんにふるさとの芸能関係の話をしてもらうのだから、お祭りをやろうということになりました。

宇都宮の中心である大通りを止めてもらうと簡単に考えていました。でもこれが一番大変で、連日連夜、市役所や警察などあらゆるところでどうすれば止められるか相談しました。大通りを止めるのが決まらないうちに、祭りをやると対外的に言えませんが、通行止めにはできるとなったのは、5月の連休明けだったと思います。

浜松の祭りを見に行き、練り歩きと電飾の屋台の動く姿が綺麗だったと報告を受け、うちも動きのあ

る祭りにしようと、歩行者天国・広場の計画を変更し、宇都宮市内で行われている春夏秋冬のお祭り、行事をとり入れた動く祭りの形としました。

費用は各方面に協力してもらい、最終的に4000万円近くの寄付を集めました。タイムスケジュールは、大通りの面積を出して人は何人くらい集まって大丈夫なのか、など警備を中心に考えました。祭りが始まり、あまりに多くの人が出たので警察が「危険だから中止にするか」と言ってきました。でも中止したら余計混乱すると思い、実行しました。

経済優先の時代に、故郷に関心を戻そうということで結果的にいい祭りができたと思います。10周年の記念だから一回きりで終わる予定でしたが、アンケート結果や各種団体からの強い要請で継続することになりました。祭りはJCが担当しているから継続できる。毎年担当が代わるから、若さと情熱で一生涯やるので続けるのだからと思います。

○ 祭りでもふるさと再認識

佐々木 正 さん(77歳)  
昭和51年第1回ふるさと宮まつり実行  
本部長を務める。現在ふるさと宮まつ  
り開催委員会委員、運営委員会委員、  
税理士、佐々木会計事務所所長。





Interview

宮まつりは第1回から参加しています。平成17、22年は休みましたが、いろいろな思い出ありますね。第1回は太鼓神輿で出ました。今のものではなく、昭和50年に氏子青年会が、簡易の台を造り二荒山神社の太鼓をお借りして天王祭に出しました。バンパ通りとして宮まつりに参加する際、氏子青年会からお借りしました。今の台は昭和52年、バンパ通り商店街として造ったものです。

第5回、昭和55年から石段を上がるようになり恒例になりました。担ぎ方は、宮壹会や市場神輿が出るようになって江戸前の担ぎ方になりました。それまでは田舎担ぎ。掛け声は「わっしょい」が多かったです。バンパだけは「オイサー」。担ぎ手も段々増えてきました。役員の息子たちが高校生や大学生で、友だちを連れてきたりしてね。友だちの輪が広がり、神輿好きが神輿好きを呼んで段々増えました。参加する立場として、こんなに続いているのはやって楽

しいからだと思います。続いているというよりも今年には終わった、来年もあるから出る、という1年ごとの積み重ねで今までやってきた感じですね。

太鼓神輿のリズムは昔から同じです。たたくのは大変で、8人は用意します。私もちよつとたたきましたが、すぐ手の皮がむけました。

宮まつりはずっと続いてほしいです。マンネリと言われるが、どの祭りもずっと同じことをやっているでしょう。三社祭でも鳥越神社の祭りでも同じことをずっと継承しています。祭りは偉大なマンネリ。だからこのままずっと続けてほしいと思います。

ちなみに、神輿の担ぎ棒の棒先3寸には人が乗っていない。神輿本体がお社で、担ぎ棒は参道。参道なのだから人が立っていいんです。本体には近づいてはダメです。本来、神輿に乗る人は指揮者で、神輿を操るのが役目。お社である本体に手を掛けるから注意されるんですね。

祭りは偉大なマンネリ

山村 隆 さん (66歳)

長年にわたりふるさと宮まつりみこし部会役員として参加。バンパ通り商店街「稲屋」経営。



Interview

宮まつりが始まってもう40年経つんですね。あつとついでですね。

宮まつりがスタートした時は、バンパ通り商店街の会長として参加しました。このほか、市制90周年の時は「バンパを歩いてハワイへ行こう」を実施しました。バンパ通り商店街のイベントとしては、二荒山神社の鳥居の前で開催した日活怪獣映画「ガッパ」のショーが一番最初だったかな。グループサウンズのテンプターズを呼んだりもしました。人がたくさん集まり過ぎてしまい中止にせざるを得なかったのですが、今はいい思い出です。

お祭りをやると人が集まるので、本当にいろいろなイベントに商店街一丸となって取り組んできました。宮まつりが始まったころ息子たちは高校生や中学生で、毎年神輿の担ぎ手として友人を大勢連れてきました。半纏は商店街で作り貸し出しましたが、パッチや腹巻、足袋などは買って準備しました。

宮まつりには必ずと言っていいほど毎年雨が降るん

ですよ。パンツまでびっしょりになってしまったのを家内が洗ってなんとかかひと晩で乾かしてくれたのに、次の日も凄い夕立となったりしてね。太鼓の皮がいつ破れるかいつも心配でした。

祭りが嫌いな人はいないでしょう。私の所でも長男は体調の都合で出られなくなりましたが、次男は50歳まで太鼓をたたいていました。体格がよくて、重いだろうなと思いましたが、その分太鼓神輿は勇壮でした。マンネリ化しないよう、一度でいいから県内のお祭りを宇都宮に集めてやりたいと言ったのですが、結局できませんでした。一回に全ての祭りをやるのは不可能だから、毎年交代で招待してやればできるのではないかな。

祭りは楽しい。第40回は盛大にやったほうがいいと思います。祭りが寂れるときみしいですから。昔はみんな熱かった。熱くなきゃお祭りなんてできないですよ。今の若い人達も祭りが嫌いな人はいないでしょう。ずっと続けて欲しいと思いますね。

県内の祭り、大通りで開催を

粕谷 忠市 さん (86歳)

長年にわたりバンパ通り商店街会長として宮まつりを支える。青年会議所第2代理事長。





Interview

30歳で実行本部長を務めたのは最年少。宇都宮青年会議所（JC）の先輩たちが宮まつりを立ち上げ、市役所と会議所とJCが三位一体で運営していた時代の最後でした。

JCでは当時、宮まつりはもういいのではないのか、というグループと、続けていこうというグループがありました。僕は後者の意見だったので、皆さんもつと関わってくださいと言っ立場でした。

祭りの委員長をやって理事長をやったのは僕の前には多分少ないと思います。理事長時代、いくつかのJCから呼ばれ、新しい事業の起し方などをテーマに講演してくれと頼まれました。埼玉県加須市のこいのぼりの祭りは、立ち上げの時に話をした覚えがありますね。

今でこそ、鳥居の前で大きな神輿が3基並びますが、当時はすれ違っただけ。あれを真ん中に集めれば迫力が出るのではないかと、連合渡御を提案しまし

もつと余韻、余裕を

笹岡 章 さん（60歳）

第2回から参加、現在に至る。ふるさと宮まつりみこし部会代表幹事、部長、名誉部会会長を歴任。



初回は素晴らしい盛大な祭りができたと観客として見ていました。2回目からは江曾島に住む友人と「宮會」を作り、現在まで参加させてもらっています。

今回で40回。もう歴史になっていますね。当初はマンネリと言われましたが、同じ時期に同じものが戻ってくるのがお祭りであって、変革を求めるところから時代の流れで徐々に変わるのはいいと思います。住人が1年間待って、市外や県外に出て行った人が戻ってきて、再び宮まつりにふれた時に大きくなったと感じるのが宮まつりではないかと考えます。

今は余韻がないと感じます。朝起きて、祭り囃子が聞こえ雰囲気盛り上がり、祭りが始まる。そこに親子の絆などができるのではないかな。今は参加する人だけがパッと出て行って、見物客もパッと見に行っ終わっている。もう少し余韻、余裕があってもいいのかなと思います。祭りを面的に広げ、時

間的にも余裕あるタイムスケジュールを組めればもつとお祭りを楽しめるのではないかと思います。

長い歴史を思えば祭りの危機は幾度となくあつたはずですが、先人は、その都度時代の変化を踏まえながら知恵を絞ってその危機を乗り越えてきた結果が今日に伝えられて宮まつりの存続しているのですから、これからも人との関わりをなくしては考えることはできないと思います。文化というものは、とりわけ祭りのような集団的なものはより多くの人々の連帯の意識なくして行うことは不可能でしょう。

このようなことから、私は人間関係の希薄さが問われている現代においてこそ、祭りが人と人との連帯意識を持たせる格好な集いとなるのではないかと考えます。加えて、伝統文化を後々まで伝えることができるのであれば、祭りを継続して開催することはまさに一石二鳥ではないでしょうか。

私は、これからも「ワッショイ」（和が一緒）の声を大きく広げていきたいと願っています。

宮っ子みこしで参加者増

飯村 悟 さん（52歳）

平成10年第23回ふるさと宮まつり実行本部長を務める。（株）飯村石材工業代表取締役。



た。昼間に二荒山神社などの神輿が出て、前年度委員長として僕が携わって初めて実施した宮っこ神輿です。担ぎ手は町内会単位では出られない人にして、今でもそれが生きています。平成6年には第1回ホルルフェスティバルに参加しました。宮まつりや天王祭があつたから実現できた事業だと思えますね。

当時、「神輿の数では宮まつりが日本一」と先輩から教えられました。もつとPRしてもよいのでは、とも思いましたが、見るより参加するのが主目的だからPRしなかったのかな。小学生のマーチングが日本有数の地区になったのも宮まつり効果と先輩から聞かされました。

宮まつり中に街なかでスポーツを考えると、ストーリートバスケを開催することを考えたこともあつたけど、実現には至りませんでしたね。基本的にお客さんを呼ぶのではなく、参加者を集めたいの思ひから考えたのですが。





Interview

宇都宮青年会議所（JC）は宮まつりが目的の団体ではなく、まちづくりをするのが目的で、その手法の一つとして宮まつりをやっています。役員は単年度制です。ずっと関わるプロのような人がいれば良いのかもしれませんが、それをやってしまうとJCとして間違っています。だが担当した者はその一年間、全てをなげうつてまで取り組んでいます。それだけ宮まつりにはJCが掲げる「まちづくり・人づくり・自己研鑽・ボランティア」の全てが入っています。

私が実行委員長の時の思い出は、初めてタイムスケジュール通りに運営ができたことです。前年度の反省を踏まえて新しいルールを作り、みんなが真剣に取り組んだからこそできたのだと思います。また一般の方との交流が生まれ、新しい知り合いが増えたことです。この人づくりは、委員長経験者はみんな思っているのではないのでしょうか。

宮まつりを見直そう、やめようという議論は何度となくJC内で出ています。私が委員長の時にも、JC内に会議体を作り、まちづくりのための宮まつりで、すでに定着したのならJCは手を引いて他団体に委ね、違う新しい手法でまちづくりをしよう、もう熟成した事業なのだから手を離すべきだとの意見のもと議論を繰り返して、6月にJCの理事が集まって投票し、1票差で継続となりました。

我々はまちづくりのために宮まつりをやっている筈ですが、最近は祭りをやるのが目的のように見えます。そこは自分の中で線を引かないと目的と手段がわからなくなってしまうと思います。まさに今、ずれてきていると感じます。40回の節目。色々な意味で脱皮をしなければならぬでしょう。JCがやらないのなら、NPOや株式会社宮まつりを設立して続けるのも手法の一つ。時代とともに変えていかなければならないことも考えねばならないと思います。

節目に「脱皮」を

金柿 説生 さん（48歳）

平成18年第31回ふるさと宮まつり実行本部長を務める。榎石川印刷所代表取締役。



Interview

宮まつりは、僕たちが携わっていたころは宇都宮市中心部だけの祭りでした。でもある程度は変わっていいと思います。参加者が1万人くらいいて特に子どもたちのマーチングには家族も見に来ます。こんなに多くの若い人がいるんだなとも思いますね。帰省の場でもいい。その時その時に合わせた祭りでもいいと思います。私は出身が宇都宮ではないので、宮まつりを初めて見たときは驚きました。県外から観光客を呼ぶ祭りにするのはなかなか難しいと思いますから、夏の風物詩として残っていけばいいのではないかな。

マンネリと言われつつも、初めて二荒山神社の本社神輿を借りて出したのは1994年のことです。今では夜にお返しをするのがクライマックスになっています。私が関わった10年間、各委員長が何かしら新しいことをやっていますね。

委員長時に印象に残っているのは、当日にかなり運

行が遅れたこと。土曜日がうまく回らなかったですね。早番神輿が決められた時間に会場から退出できず、遅番神輿もずれ込み、リミットである午後8時45分にながれませんでした。交通規制が解除された後、一番端の車線をみんなが歩いて帰りました。一年間やってきて思ったようにできなかった。ふがいなさで泣きました。苦しい思い出です。

ポスターが市内の小学生の絵になったのは、私が委員長の時。それ以前はデザイン事務所に頼んでいました。広く市内の小学生に絵を描いてもらってポスターにすれば、一人でも多くの人が祭りといふれあえるようになると思ったのです。事務局会議で提案し承認され、1回目は97年。それがずっと続いています。

JCの若手たちに伝えたいことは、神事ではないので何でもできるということ。それに、我々は裏方で主役は参加者と見に来ている方だということです。

運行遅れ、ふがいなさで涙

矢治 和之 さん（52歳）

平成14年第27回ふるさと宮まつり実行本部長を務める。現在ふるさと宮まつり開催委員会委員。榎ロココ企画装飾代表取締役。





Interview

陽北中3年の時に宮っ子よさこいが始まり、第1回に参加し初代リーダーを務めました。そこから宮まつりが身近になり、参加したらワクワクドキドキ。夜9時ごろまで踊りっぱなしたけど、メチャメチャ楽しかった。沿道の人たちから声援を頂いたりして。運動会よりも思い出になっています。陽北中はいまだに参加しているけど、私は第3回まで、高校生になって初代リーダーとして練習に出て、本番も山車を引いて参加させてもらいました。

当時は、「夏イコール宮まつり」でした。大学時代に住んだ山形には花笠まつりがあるけれど、踊りがずっと続いて神輿はなく、今まで見てきた祭りとは違うと感じました。やはり神輿があって踊りがある「宮まつり」が祭りとしてイメージが強かったのでしょうね。宇都宮大学大学院に入って、何らかの形で宮まつりに出たいと陣内雄次先生に相談。ボランティアをやってみたらと言っていたけど、ずっとボランティア

で参加しています。花笠まつりは全国区の大イベント。でも宮まつりは地域の祭りとして残ってほしい。全国区にならなくていいと思います。花笠も見に行つて楽しいというのがあるけど、祭りは参加した経験があると、見るだけではつまらない。チャンスがあれば企画から参加したいと思います。

みこし、踊り、お囃子があるが、どの時間にもどこが一番盛り上がっているかわからないということがあるけど、宮まつりについて、県外の友人に「何がメインなの？」と聞かれた時、「いろいろだよ」と答えていました。

将来、自分に子どもができれば、宮まつりに出てほしいです。私が祭りでの経験を話す宮まつりに出てみたいという友だちがいます。でも参加の仕方が分からない人が多い。見に来た人も参加できるような仕掛けがあると面白いのではないのでしょうか。

見物客も参加できる仕組みを

渡邊 真弓 さん(26歳)

中学3年時、陽北中初代宮っ子よさこいリーダーとして活躍。大学院時代の恩師のアドバイスで、以後ボランティアとして参加。



Interview

宇都宮青年会議所(JC)として、宮まつりへの思いはスタート時から5年、10年、15年と経つにしたがいどんどん変わっています。「なんで宮まつりをやっているんだ」「なんでJCがやらされているんだ」という考え方が強くなってきていると思います。「2日間のために1年かけて準備するような大変なことをやらなければいけないんだ」。何度も同じような議論を繰り返しながらも39年続けているんですね。結局、JCでは「オレらしいかないだろう」という思いが一番のモチベーションになっていると思います。

39回の歴史があるので、なんとなく勉強すればなんとなくは運営できるますが、それは、先輩たちが要所所で祭りを見てくれるからこそ祭りがうまく運営できるわけです。それを引き継いで「誰でもできるよ」と思つるところから、「JCがやっているといいのだろうか」「この先発展するのだろうか」「手放すべきでは」となるのではないのでしょうか。それ

を一つ一つ話していったのが一番の苦勞ですね。だが実は、宮まつりがいかに楽しいかを話せる場でもありました。

宮まつりは、出会いとふれあいの広場として始まりました。1年経ち「またここで出会えたね」という集まり。第1回を開催した佐々木理事長は「宮まつりの目的には中心市街地の活性化もある。でもメインじゃない。本来の目的は地域開発。それが最大の役目だ」と、よくおっしゃっています。

第31回、市制110周年から宮っ子パレードで幼稚園児が出られるようになりました。去年から保育園児も。これは未来につながると思います。ポスターを張り歩く際に「JR宇都宮駅」の東口でもやってほしい」「雀宮でもやって」と言われ、なるほどなあと思います。期待があるんだと感じました。秋に東口でお祭りをやれば活性化になるのかなと考えたりもします。

「オレらしいかない」がモチベーション

山本 和紀 さん(39歳)

平成24年第37回ふるさと宮まつり実行本部長を務める。(尚昌和取締役)





40<sup>th</sup>  
Anniversary

# 宮ふるさと ままつり



ふるさと宮まつり座談会

column

## 〇 やはりこの「マチ」はすごい

小学生の頃、オリオン通りを象徴とした宇都宮市街地を「マチ」と呼んでいた。市の南の、当時田んぼや畑に囲まれた町に住む子供たちにとって、中心部はお洒落なマチ（街）、夢あふれる大都会。「今日の日曜、マチへ行こうよ」友達とのそんな会話は、ちよつとしたステイタスだった。中学生になると、「マチ」ではなく「市内」（おそらく「内」には「中心」の意味が込められている）と呼ぶのがワンランク上の表現となったが、市街地に対する憧れは変わらず、そこで行われる「宮まつり」はやはり特別なものだった。

初めてまつりに参加したのは、中学二年生の時。友人と二人、浴衣をまとって、電車で揺られて市内へと出掛けた。東武宇都宮駅東口からオリオン通りに出た瞬間、目に飛び込んで来た景色を今でも忘れない。アーケード街を一点の間もなく埋め尽くす人、人、人。宇都宮市内の、いや日本中の人たちがここに集まっているのではないかと思つた。暑さと、屋台のモーター音と、満ちに満ちた活気と人波に、一瞬自分の存在を掻き消されそうになった。やはりこの「マチ」はすごいんだ……。着慣れぬ浴衣の苦しさも忘れ、しばし圧倒されていた。友人の父が神輿を担いでいるからと、二色のシャーパーツアイスを手にとり大通りへ出た。交通制限がされ、男たち

が勇み叫び熱をたぎらせる様は、非日常そのもので、いささか恐怖を覚えた。しかしそれはすぐに興奮へと変わり、大地を動かすエネルギーはすべてこの場所から生み出されている気さえした。

「やはりこの「マチ」はすごいんだ……。憧れと共に、土地に対する尊敬の念が湧き、今では深い感謝と愛を抱くようになり、私が宇都宮に住みながら音楽活動続ける大きな要因となっている。40回という歴史に心から祝福を贈り、これからも「ふるさと宮まつり」が益々の感動を人々に与えて行くことを願ってやまない。



## 〇 シンガーソングライター せきぐち ゆき さん

宇都宮市出身。2004年シングル「ドライブ」でインディーズデビュー。同楽曲がFM NACK5「ミュージックチャレンジ」2003年下半年スーパーグランプリを獲得。2005年2月にシングル「桜通り十文字」でメジャーデビュー。シングル「風と共に」は、石原裕次郎23回忌のイメージソングに抜擢され、2009年7月5日に行われた国立競技場での「石原裕次郎二十三日忌祭典」でも披露された。2011年、3rdアルバム「素顔～愛すべき女たち～」が、第53回輝く！日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞。RADIO BERRYレギュラー番組「せきぐちゆきの 桜通り十文字」毎週月曜生放送中。宇都宮愉快市民PR大使。日本三大美肌の湯喜連川温泉PR大使。宇都宮くちコミ特派員。





富士 一千代さん

長く出場することが大切だと思っています。  
**【大根田克代おはやし部会長】** 17、18年前からおはやしで参加しています。部会長になって2年ですが、自分達が楽しくなければお客さんも楽しくないと考え、楽しんで演奏しています。みこしの皆さんとふれあう機会が多く、みこしが来ると異様に盛り上がりです。例年、雨に悩まされています。太鼓は雨に弱いですから、雨で演奏が中止になった年はストレスが溜まりますね。  
**【富士二千代おどり部会長】** おどり部会が参加したのは平成元年からです。私もそれ以来参加しています。当初は地方さんがいて、今のおどり本部席付近にやぐらを組んでやっていました。今はCD、やっぱり地方さんの演奏でやぐらを組んで踊りたいですね。一番言いたいのは二荒山神社の前まで行きたいということ。時間が短い中、1000人以上が踊ります。コンクール制になり12、13の団体を審査しますが、とても忙しいです。宮の盆唄は昔、芸者たちが太鼓を叩いていました。その後、パンパ音頭になりました。いろいろな祭りに行っています。踊りは祭りの華です。でも宮まつりでは踊りが華になりきれないのではと思います。

**【矢部興一和太鼓部会長】** 雨が一

## ふるさと宮まつり座談会

ふるさと宮まつりは「みこし」「パレード」「郷土芸能」「おはやし」「おどり」「和太鼓」の6部会で運営されている。今回、宮まつりが40回目を迎えるにあたり、各部会長に集まってもらい、これまでの思い出や節目の祭りに向けた意気込み、思い描く祭りの理想像など、思いの丈を熱く語っていただいた。

人の結びつきを強くするのが祭り

——宮まつりに対する皆さんのイメージは？ 皆さん自身にとって、宮まつりはどんな位置づけなのでしょう？  
**【浜野博彦みこし部会長】** みこし部会は、やはり「宮まつりの柱」という意識を持っていますね。とにかく市民と盛り上げ、宇都宮を活性化させられたいの思いでやっています。年が離れた人、職業が違う人たちが話し、酒を酌み交わすなど、人の結びつきを強めることができます。歴史を大切に、新しい時代を若者たちとともにつくるきっかけにもなると思っています。

**【阿佐美圭祐パレード部会長】** 2年間部会長をやっていますが、宮まつりの参加年数は非常に長いです。今47歳ですが、パレードに初めて参加したのは小学6年、12歳の時。小学生が楽器を演奏する晴れ舞台が宮まつりのパレードでした。今でこそやや衰退していますが、宮まつりはマーチングが発展するきっかけもつくったと思います。

**【山口要作郷土芸能部会長】** 我々は派手さはありませんが、細く長く地味にやってきました。宮まつりは、日ごろの練習の成果を発表できる場として良いと思います。後継者問題もあって当初より出場団体が少なくなりましたが、保存会が小学生を指導し、その子どもたちが宮まつりに出場しているという団体がいくつかあります。無理をせずに

番困りますね。我々の太鼓は「男性雷太鼓」という名前なので「お前らが出るから雷が鳴るんだ」と笑い話をしています。当初はテプロで始まりました。最初は東京電力側からぎやかにしてほしいと要請があったと聞いています。太鼓は盛り上げ役としてやっています。1日目は大通りで、2日目は二荒山神社前の広場で、2時間と決まっており、参加したいけど出られない団体もあります。

矢部興一さん



会場全体の統括に苦心

——最初に宮まつりに参加した時と、部会長として携わっている現在と、気持ちの違いはありますか？ 部会長としての苦勞などはどうでしょうか？

**【矢部】** 一番の苦勞は決められた時間内にやぐらを組んで、演奏した後に撤去しなければならないことです。その時に雨が降ったら最悪なのですが、そんな年が何度ありました。

**【富士】** 踊りの面で苦勞はありません。踊り自体はとても上手に





阿佐美 圭祐 さん

すから宮まつりを通して音楽性豊かな子どもたちを育てていくべきではないでしょうか。自分が小学生から今まで携わらせてもらっていることから、宮まつりは非常に大きな出会いを作ってもらったと考えています。人を育てるといふ観点から行政

——今までは過去の話でしたが、ここからは今後、宮まつりをどうしたらいいかということ伺いたいと思います。

【富士】 市役所はなぜ出てこないのでしょうか？ 市役所の人たちが出てくればさぞ盛り上がると思うのですが。

【阿佐美】 JCにも現状を伝えていますがパレードを披露する時間を作ったからやっつね、といわれてもそれは違うのではないのでしょうか。今や市内のチームはほとんどなく、なんとか市外のチームで維持している状態です。これは、10年位前からです。行政が心豊かな子どもたちを育てていく仕組みを作っていく必要があると思います。ナベサダなど優秀な音楽家を輩出している街なので

マーチングは市内団体なし、  
太鼓・旧小渡芸能は底辺拡大

いる。どんどん増えるのはありがたいことです。



山口 要作 さん

なりました。点数をつけるのが大変なほどです。一番足りないのは時間です。1時間で1000人以上が出てくるのはかわいそうだと思います。出てきたら終わりという感覚でしょう。もう少し延ばせないかと思案中です。よさこいは2時間あります。なぜでしょうか？ よさこいもいろいろと宇都宮の踊りもやっつほしいと思います。子どもたちも地元元の踊りのほうが喜ぶと思います。

【大根田】 おはやしは22団体が会場全体に散らばるため、すべてに目が届かない部分があります。暴走する団体もあります。自分が参加して楽しんでいる時はよかったです。責任がある今は難しいと感じています。

【山口】 20代から出ていますが、出場団体が集まらないのが実情です。どこの郷土芸能の祭りも夏で、行事が重なります。後継者も少なく参加団体を見つけないのが大変です。さきほど細く長くと言ったのは、そういう背景があるからです。

【阿佐美】 我々が初参加した当時は、スクールバンド活動が盛んでした。小学校チームだけで30くらいあり、土、日ともにパレードが開催されていましたが、2日間とも出られたのは一つか二つ

でした。他はどちらか1日だけでした。でも、今や宇都宮市内の小学校はゼロです。それをパレード部会と言っているのは違和感があります。これが部会長としての苦悩でしょうか。最盛期を知っているだけにさみしいですね。せっかくビッグイベントがあってもハードだけを育ててソフトを育てていないというのはね。

【浜野】 最初は純粹にただ楽しむだけで責任も何もありませんでした。一担ぎ手と、今の部会長ではまったく違います。宮まつりが始まった年に埴田睦会が発足し、2回目から参加しています。歴代の部会長は睦会がさせてもらっています。部会長になって60前後のみこしが出るので、参加人数も多いです。なんといっても無事に、事故がなく終わるといのが一番ですね。実行委員会もみこし部会が祭りのメインと捉えてくれていてますので、いかに盛り上げるかを実行委員会でも工夫してくれています。最近でいうと手締め式です。これは手締めをして一気にみこしを上げます。4基対抗としてクライマックスに大きなみこし4基が集まって盛り上げる。本社みこしが入る。そういった工夫もあり、参加団体、人数が増えています。今年も新規団体から申請が出て



大根田 克代 さん

【矢部】 和太鼓は宮まつりに参加している3団体が毎年希望してきた30校に対しボランティアで授業をしています。その成果が出てきて、小学1年から5年生まで10人が宮まつりにも出ています。文化会館でのイベントにも出ていますが、それを見て、やりたいという子どもが出ていますので底辺は広がっていると思います。

【山口】 新里の獅子舞保存会でも学校に教えに行つて、子どもたちが宮まつりで披露しています。宮まつりに出たいから獅子舞をやりたいという子どももいます。学校も協力してくれて、先生もついて来てくれます。子どもたちが宮まつりに出て喜んで、大人になつた時に伝統芸能を引き継いでくれるのが一番いいのではないのでしょうか。小規模校だからできるのかもしれない。

【大根田】 警察が関連してくるのですが、以前は地元から太鼓を叩きながら会場に入りました。今はトラックに「宮まつり開催中」という横断幕をつけて入ってきます。横断幕をつけているだけでは目立ちません。以前のように叩きながら来れば、通り道の人たちが行ってみようかなとなるかもしれません。各地区から来るので、結構多くの人の目にふれると思うのですが。



浜野 博彦 さん



みこし部会5代目部会長  
浜野博彦さん(57歳)



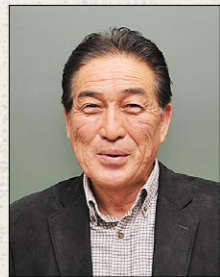
宇都宮市錦1丁目在住。埴田睦会で30年間みこしを担ぐ。食品卸会社代表取締役。

パレード部会部会長  
阿佐美圭祐さん(47歳)



宇都宮市細谷町在住。ふるさと宮まつりに小中学時代はプレーヤー、社会人になってからは指導者として参加。マーチングバンドプログラムコーディネーター。

郷土芸能部会部会長  
山口要作さん(64歳)



宇都宮市新里町在住。20歳代の頃から宗門獅子舞保存会の会員として出場。会社役員。

【浜野】 基本的に楽しいから来ています。うれしかったのは震災で被災した人がみこしを担いで楽しかったと言ってくれたことです。みこしを担ぎ、祭りの中にあることで、嫌なことも忘れられ、無心で楽しめる。だんじりや御柱のように魅力を高めて観客と一体になれるようなことができないかなと思いますね。

○ 震災以降、全団体が最後に「上を向いて歩こう」演奏

— 今、うれしかった話が出ましたが、ほかの方でうれしかったことや、逆に大失敗した思い出などはありますか？

【富士】 一番印象に残っているのは台風でもすごい雨で行き場がなかったことかな。私たちは着物ですが、太鼓などは雨が降ると大変です。

【矢部】 常にビニールは用意していますよ。かんかん照りの日も。

【大根田】 私のおはやし会で、お客さんに太鼓を叩かせることがあり、特に外国の方にすごく喜ばれました。部会全体でそのよう

ることがあります。そういう時は困ってしまいますね。

【阿佐美】 震災後、パレード部会として何か応援をしたいとフィナーレとして全チームが「上を向いて歩こう」を演奏しています。

— 今、パレード部会では最後に全チームが同じ曲を演奏しているとの話が出ました。太鼓部会ではできませんか？

【矢部】 県太鼓連盟の加盟7団体は統一の曲をつくり、ねんりんピックでも叩きました。太鼓は流派によって異なるので全団体が同じ曲を演奏するのは難しいですね。

— 会場全域で同じ曲を叩けば盛り上がると思うのですが。50回目に向けて考えていただきたいと思っています。

○ 節目の大会、事故なく盛大に

— 最後に、40回目に向けて各部会の意気込みをお願いします。

【浜野】 やはり宮まつりの大きなイベントはみこしです。節目なので、観客と一緒に盛んに盛り上げ、事故のないように頑

なことをやればさらに盛り上がるのかなと思います。

【山口】 やはり雷でしょうか。郷土芸能は獅子頭など文化財の品が多いので濡らすとアウトです。オリオンスクエアに会場が移ってからはその心配がなくなりましたが。

【浜野】 毎年指摘されるのが入れ墨ですね。隠している人もいますが。あと困るのがけんかです。特に実行委員とけんかになる。どうしてもタイムスケジュールがあるだけにめめます。あとはモラルですね。酒を飲んでいるひとの排泄や禁煙地区での喫煙。たまに暴走族も来ます。

【大根田】 以前、車の山車を置いたまま帰ってしまったチームがありました。交通規制解除後も停まったままで、これにはビックリ。翌年のさまざまなおはやし事業に1年間出場停止となりました。残念でしたが二度とそのような不祥事がないように徹底しています。

【富士】 出る人はお酒飲んじやいけないでしょ？ でも観客からビールが差し入れられることがあるのです。

【大根田】 缶ビールなら持ち帰れるんですが、ジョッキで出され

張っていききたいです。

【阿佐美】 パレード部会は決して良い状況ではないですが、オーピングを飾るのはパレードです。記念すべき40回目を飾れるよう努力します。

【山口】 市内にもこんな文化財があったのかと再認識してもらえよう、なるべく多くの団体に出演していただき披露できればと思っています。

【大根田】 「出会いとふれあいの広場」になるよう、観客の皆さんと熱い「宮まつり」にしたいと思っています。

【富士】 各団体が踊りの中に40周年ということを取り入れてもらうよう仕向けてみようかな。踊りの振りは決まっているので、手に持つものとか何かできればおもしろいのではないかと思います。

【矢部】 和太鼓部会はそれぞれ曲がすべて違います。他の団体と音が交じらないよう、間隔を正確にして、それぞれが大きな音で演奏できるようにする。そうすればより一層、いい演奏が披露できます。通行止めの中に入れる車両は我々の15台だけです。小さな事故もないように努めたいと思います。

おはやし部会部会長

大根田克代さん(72歳)



宇都宮市上籠谷町在住。宇都宮市お囃子連合会会長。18年前から上籠谷おはやし会として宇都宮市おはやし連合会に入会を機に参加。農業に従事。

おどり部会部会長

富士一千代さん(88歳)



宇都宮市大曾5丁目在住。平成元年よりおどり部会として参加。平成16年より部会長。舞踊指導家、富士流家元。

和太鼓部会部会長

矢部興一さん(75歳)



宇都宮市岩曾町在住。創作男性雷太鼓代表。26年ほど前、男性雷太鼓入門当時から参加。



40th Anniversary



# 宮ふるさと



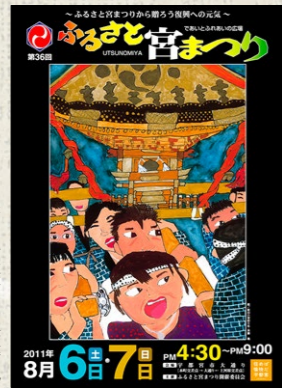
資料編

## ふるさと宮まつり これまでの参加団体一覧

<p><b>マーチングバンド</b></p> <p>自衛隊 警察音楽隊 豊郷南小学校 峰小学校 御幸小学校 城東小学校 泉が丘小学校 雀宮中央小学校 細谷小学校 宇都宮女子商業高校 (宇都宮文星女子高校)</p> <p>泉が丘中学校 隔東小学校 宮の原小学校 宝木小学校 西小学校 宮の原中学校 五代小学校 雀宮南小学校 西原小学校 瑞穂台小学校 雀宮東小学校 錦小学校 清原中央小学校 隔南小学校 中央小学校 桜小学校 清原南小学校 御幸ヶ原小学校 清原中学校 石井小学校 明保小学校 マスカウ市 緑ヶ丘小学校 清原東小学校 昭和小学校 築瀬小学校 市消防音楽隊 御幸小学校 宇都宮サウンド カンパニー 豊郷北小学校 陽光小学校 宇都宮商業高校 茨城県立大洗高校 京華女子中学高校 埼玉栄高校 総合警備保障 女子儀仗隊 聖徳大学付属高校 東海工業高校 矢板市立矢板小学校 Courage Drum&amp;Brass Corps グリーンジュニア マーチングバンド 沖縄県人会 旭中・中央小合同 ネルトリンゲン 少年音楽隊 宇都宮パトスタジオ 喜連川小学校 モランゴジェレラ 清原ジュニア マーチングバンド 中央小・桜小合同 東京実業高校 ディホームざつき</p>	<p><b>尚美マーチングバンド</b></p> <p>ESCOLA JAFFRO 榎木沖縄県人会 チョーデー会 さくらが丘幼稚園 PTAバンド 琉球園祭り太鼓 リンク榎木ブレックス 創価学会 榎木吹奏楽団 榎木 エイサーシンカ琉和 沖縄アクターズ インターナショナル NPO 日本法輪大法学会 PL北関東MBA 姿川第一小学校 吹奏学部 榎木富士鼓笛隊 晃宝小金管バンド 高根沢高等学校 ざつきドリマーズ マーチングバンド プロジェクト・ソウ ・1・A3 創価学会 榎木富士鼓笛隊 suzumenomiya Drum Corps 鹿沼北小学校 潮あがりミュージカル アカデミー LOVE&amp;PEACE 田原小学校</p>	<p><b>宇都宮芸妓組合</b></p> <p>佐作流屋板本町 お囃子連 飯田町囃子連 松田流板戸若福会 小松流新囃子宇都宮 子供お囃子連 小松東雲泉新流 今泉新町お囃子会 小門町吉兵衛流 五段囃子城山愛好会 新清流五段囃子城南 お囃子会 佐作流宮野お囃子会 新宿流新囃子鶴田 お囃子保存会 小松東雲泉東会子 お囃子連 小松東雲流 宇都宮東お囃子会 小松流新囃子上 籠谷町お囃子会 旧小門町吉兵衛流 五段囃子保存会 岡坪自治会 (山車・屋台) 原坪自治会 (山車・屋台) 創価学会 榎木富士鼓笛隊 本郷睦会自治会 (山車・屋台) 上四条自治会 (山車・屋台) 小松流新囃子 竹下町お囃子会 今泉新町(山車) 小松流新囃子 鏡山お囃子会 中徳次郎屋台囃子会 竹林御囃子会 新弥流徳次郎上町 お囃子保存会 徳次郎下町 おはやし保存会 小門流桜田 おはやし保存会 吉兵衛流田下 お囃子会 天棚 石井町下川岸自治会 水室町本田屋の宮組 下駒生天祭保存会 海道町自治会 台新町自治会</p>	<p><b>山車屋台おはやし</b></p> <p>西根(屋台) 上町(屋台) 門前(屋台) 仲町(屋台) 原石那田(屋台) 蓬萊町(屋台) 伝馬町(屋台) 本郷町(屋台) 大工町(屋台) 坊村保存会 下川岸お囃子 砥上町新囃子 小松流新囃子 砂田佐作流 野尻長坂天祭 上の島お囃子 新宿流 五段囃子砥上町 野尻長坂お囃子会 小松流新囃子宮の会 新小松流一里囃子連 宿郷東自治会 お囃子会 上四条町(山車) 鹿沼平戸流お囃子 中島町佐作流 保存会 宇都宮駅東お囃子会 新清流東谷囃子会 徳次郎地区 囃子保存会(4町会) モランゴジェレラ 清原ジュニア マーチングバンド 中央小・桜小合同 富富富 小門町吉兵衛流 飯田お囃子</p>	<p><b>雀の宮上町</b></p> <p>川向1丁目 宇都宮みこし愛好会 旭町本丸西面 上河原町 堀田睦会 百目鬼町会 東鳩田7区 中鳩田2区 中央北部 寿町 西鳩田北部 宮島町 パンパ通り商店街 東鳩田2区 大町 旭栄町 旭町2丁目湖南 押切町 元石町 材木町協和会 寺町 江曾島東町町会 西大寛本町 三条町北部 宮町1区 石町 本丸東部 今泉八坂 宿一自治会 清水町 中河原町 北一の沢 宿郷1丁目 二里山自治会 泉町自治会 旭河みこし会 亀井ヶ丘自治会 桜大谷通り町会 天神町 一条4丁目 花房本町睦会 西大寛町 御幸本町中央 雀宮日の出通り 平出雷電神社 本郷町睦会 弥生1丁目卯月 寺町みどり会 雀宮神社 河原町亀井ヶ丘 川向4丁目 築瀬1丁目 湖南宇都宮振武会 清原4丁目5区 一条3丁目麗神会 宝木子供みこし会 中戸祭一区 宝木町2の2町会 高谷林自治会 雀宮下町振睦会 曲師町宮興会 宮園町東栄会 寺町青年会 一の沢御興会助 西鳩田育成会 錦青年会</p>	<p><b>鶴田宮の原南部</b></p> <p>戸祭地区4丁目樓会 天神青少年育成会 高根沢町 中戸祭一区自治会 清原神興会 雀下町金剛会 市場神興 横川神興会 菊水町 清志 中戸祭神塚会 三祖神社神興会 田原睦会 古田金剛会 田原睦会 一の沢御興会 <b>郷土芸能</b> 篠井金掘唄・ 草刈唄保存会 二荒山神社 神楽保存会 間堀町獅子舞保存会 八坂神社 太々神楽保存会 飯山町獅子舞保存会 瓦谷の神楽保存会 宗円獅子舞保存会 南飯田神田ばやし 福原の餅つき唄 馬頭祝太鼓 藤原町の竜王太鼓 宮木遣り保存会 宇都宮高木遣り 保存会 上横倉町獅子舞 保存会 逆面獅子舞愛好会 逆面子供会 <b>若人の広場</b> ニューシャープ ツーオンス (シンガー・日劇) スイングキングハード (工業中央指導所) G&amp;G (工業中央指導所) スイングストーン (東京電力) ブルービーチ (日本ランコ) ニューフェース オーケストラ (給食センター) シティメイツ (青少年ホーム) アイワ <b>おどり</b> 詩之舞会 妙嘉代会 稲千代会 阿井千代会 智千代会 花朋会 つかさ民舞会 江曾島東自治会 足利銀行 一千代会 昌千代会 智近会</p>	<p><b>秀伎代会</b></p> <p>翠峰会 渡辺歌子しのぶ会 今小路自治会友の会 NTT宇都宮支店 川中子会 千津代会 房千代会 穂喜代会 敏千代会 中山民舞会 アイレディス化粧品 宇都宮支部 すみれ会 秀和会 岩曾町東自治会 岩戸会 榎木銀行 カルビー宇都宮工場 三喜流大和支部 宇都宮信用金庫 北関東総合警備保障 せんば流鼓生会 千葉雅富会 榎木県中央信用組合 JR東日本宇都宮地区 榎木県美容業 環境衛生同業組合 宇都宮支部 三喜敏千代会 宇都宮民舞の会 宇都宮貯金 事務センター 三喜千代自治会 千葉会 JA宇都宮婦人部 am/pmジャパン ビューティーアトリエ 宇都宮中央郵便局 宇都宮商工会議所・ 中国子八八市 研修生 藤原丞順会 八千代会 東野交通 富じしょうすくい会 NHK宇都宮放送局 宇都宮市子供育成会 安田信託銀行 宇都宮支店 続生会 鳥山信用金庫 榎木江戸芸 かつばれ梅桜会 富士流民舞一千代会 三喜流千津代会 いきいき元気体操 ふるさと榎木民舞連 NTTドコモ榎木支店 緑2丁目自治会 野村証券宇都宮支店 中央ザウルス 宇都宮つづれ舞踊会 平松本町自治会 シルバー大学校 中央校盆踊りクラブ ヨークベニマル 労働組合 榎木信用金庫 四ツ竹育香会</p>	<p><b>和太鼓</b></p> <p>創作男体雷太鼓 野州雷太鼓 警察手眼太鼓 鬼怒飛行太鼓 下野不動太鼓保存会 鬼怒麗人太鼓 風神太鼓 榎木和蔵会 美連一番太鼓 和太鼓集団鼓舞士 和太鼓美風伝 高根沢湯泉太鼓の会 岩舟武蔵太鼓 日光街道杉並木 太鼓会 和太鼓 一葉一 山びこ観音太鼓 和太鼓軍団輝 あすなろ太鼓 若獅子隊 市貝武者太鼓振興会 うめばやし保育園 疾風太鼓 ゆりかごキッズ ナーサリースクール 巴波会 和太鼓学び会 さんらく太鼓 和太鼓集団鼓鬼 つれづれ太鼓 文星太鼓 うめばやし 学童太鼓クラブ 西地区ひまわり太鼓 山太鼓大東保存会 聴障太鼓「響」 今宮太鼓 響綾 和太鼓 宝塾 東峰戦隊 保育園ジャー! 榎木三宅会 和太鼓 阿牛 野州轟一番太鼓 湯澤一樹太鼓組 東峰和太鼓部 和太鼓楽「心響」 TAIKO-LAB 榎木 <b>宮っ子よさこい</b> 高知市よさこい 鳴子踊り子隊 J・カンパニー Factory of Move 425スタジオ シェイクハンス友の会 Hearts &amp; Heaven MFジャズパレ エカンパニー 3美クラブ PANPY マッキー 冒Z サンパ婆</p>	<p>ウイロニビアロハ セレニテ Good day mate!! 翔美なるこクラブ アホ踊り おせつ会 国際交流協会 地域交流部会 宝木小学校 榎木銀行 プロジェクトK よさこい宇都宮 住吉保育園 大工町レディス 南よさこい 子供クラブ あほどり 隔南陸上クラブ 元石町婦人会 榎木信用金庫 戸祭小学校 穂乃華 宇都宮 リーダースクラブ みやふね 文星アルカディア 隔北中学校 きれいどころ うめばやし保育園 Smile 舞妃女 ひまわりなご会 友遊いずみクラブ 文星芸術大学 積水ハウス 宇都宮支店 瑞穂野くら 飛晴 宇都宮響 花鳥風月 フレンドシップ よさこい 榎木の葉よさこい連 スポーツかわち「ship」 TEAMみぎえならえ アート&amp;スポーツ 専門学校 雨情よさこいクラブ 夢翔華 ハナタイカ 宇都宮北 宇都宮子供劇場 城山Jr.クラブ 宇都宮未来クラブ 小林ダンススタジオ いろは 嵐舞衆 雷さん よさこいキッズ 梵小睦会舞 みんなで楽しく おどろう会 絆舞~HY~ ジャンビーズ 華おとめ小町・梵天 宇都宮市民 ミュージカル協会 遊幻空間</p>	<p>トミーヤ・マミーズ 隔西中学校 リクルート北関東 マーケティング ファンファン ミュージカル 翔舞 住吉福祉会 ピースフル富屋 大原学園宇都宮校 NTTドコモ榎木支店 四ツ竹育香会 大和ハウス工業 宇都宮支店 <b>宮っ子パレード</b> 認定しりゆりこども園 作新学院幼稚園 平出むつみ幼稚園 伊東文化幼稚園 中郷田幼稚園 八幡台幼稚園 みふみ幼稚園 能満寺幼稚園 ゆたか幼稚園 すずめ幼稚園 さくらが丘幼稚園 平出幼稚園 上河内幼稚園 駒生幼稚園 清原ドリ幼稚園 やしお幼稚園 風と緑の幼稚園 あゆみ保育園 すみれ保育園 パンビーニゆめ パンビーニとよさと あゆみ保育園 隔西保育園 不動前保育園 こぼと保育園 御幸保育園 瑞穂野保育園 星風会雀宮保育園 ステラ しらとり保育園 ゆりかご保育園 みちおせ保育園 ナーサリースクール とまつり 江曾島保育園 宝木保育園 ひばり保育園 <b>宮の梵天</b> ふるさと宮まつり 梵天実行委員会 河内商工会青年部 ボーイスカウト河内 第1・宇都宮第1 実行委員会 かみかわち梵天祭り 実行委員会 明保地区明い まちづくり協議会 梵天祭り実行委員会 うつのみや市 商工会青年部</p>
---	--	---	---	--	--	---	---	--	--

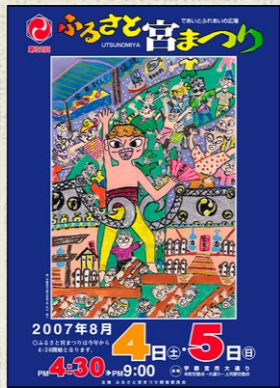
ふるさと宮まつり 参加団体一覧





第36回 平成23(2011)年

新田小学校5年 斉藤楓



第32回 平成19(2007)年

東小学校6年 丸山澄人



第28回 平成15(2003)年

五代小学校6年 松本彩花

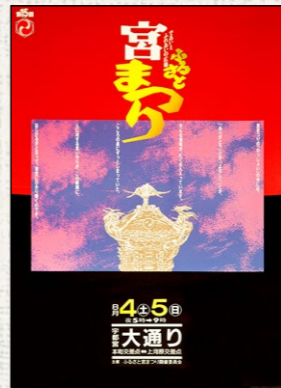


第24回 平成11(1999)年

宇都宮大学附属小学校5年 細田草太



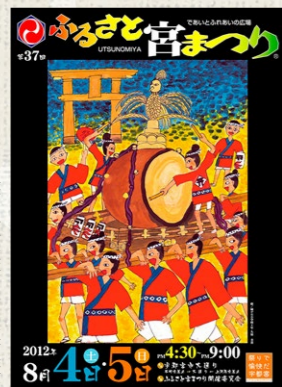
第20回 平成7(1995)年



第15回 平成2(1990)年

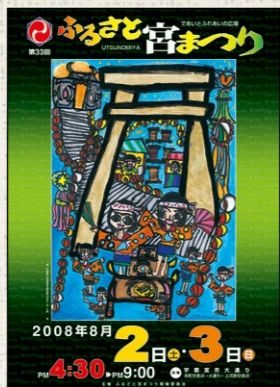


第5回 昭和55(1980)年



第37回 平成24(2012)年

緑が丘小学校6年 久保美貴



第33回 平成20(2008)年

宇都宮大学教育学部附属小学校4年 大栗恵



第29回 平成16(2004)年

宮の原小学校6年 林あすか



第25回 平成12(2000)年

築瀬小学校5年 松山聖美



第21回 平成8(1996)年



第16回 平成3(1991)年



第6回 昭和56(1981)年



第38回 平成25(2013)年

宇都宮大学教育学部附属小学校4年 金子愛也加



第34回 平成21(2009)年

宇都宮大学教育学部附属小学校2年 阿部百恵



第30回 平成17(2005)年

宇都宮市立陽南小学校4年 萩原健太



第26回 平成13(2001)年

姿川中央小学校3年 初谷菜摘



第22回 平成9(1997)年

泉が丘小学校 山崎麻以



第17回 平成4(1992)年

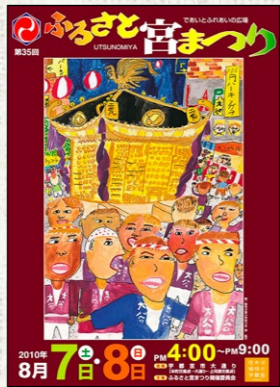


第12回 昭和62(1987)年



第39回 平成26(2014)年

細谷小学校3年 福田彩乃



第35回 平成22(2010)年

御幸が原小学校3年 岸 紘平



第31回 平成18(2006)年

宇都宮大学教育学部附属小学校2年 川俣希



第27回 平成14(2002)年

城東小学校3年 見目智也



第23回 平成10(1998)年

作新学院小学校2年 猪瀬景子



第18回 平成5(1993)年



第14回 平成元(1989)年



第4回 昭和54(1979)年

ふるさと宮まつり  
ポスターギャラリー

当初はデザイン事務所に依頼、好評をいただきました。第22回より小学校の児童の作品を使用するアイデアが採用され、以来、なごやかなポスターとして毎年恒例となっています。



第1回 昭和51(1976)年

ふるさと宮まつり40年のあゆみ

ふるさと宮まつりポスターギャラリー

まちづくり推進機構ではここに掲載されていないポスター(第2,3,7,8,9,10,11回)を探しております。もしお持ちの方がいらっしゃいましたら、まちづくり推進機構までご連絡ください。



1986 昭和61年	第11回	実行本部長 加藤 秀男 実行委員長 仲野 順一 観客数 260,000 市のできごと 市の木に「イチヨウ」を制定／市役所所在地に移る バボットとバルーンアーチによる装飾実施
1987 昭和62年	第12回	実行本部長 小堀 康夫 実行委員長 鈴木 雅文 観客数 200,000 市のできごと 市民の日制定記念式典開催 観光協会が事務局となる
1988 昭和63年	第13回	実行本部長 青木 直樹 実行委員長 宮本 隆昌 観客数 250,000 市のできごと 宇都宮清原球場・体育館オープン／食と緑の博覧会開催 郷土芸能部会会則制定
1989 平成元年	第14回	実行本部長 中島 理 実行委員長 坂寄 修一 観客数 350,000 市のできごと フランス・オルレアン市と姉妹都市提携／帝京大学理工学部・作新大学・文星短期大学の3校が開学 おどり開始、日曜日台風で中止
1990 平成2年	第15回	実行本部長 牛久 善勝 実行委員長 鈴木 康彦 観客数 300,000 市のできごと 駅西口再開発ビル完成ロビンソン百貨店オープン／駅ビルバセオ開店／東北線（上野～黒磯）に「宇都宮線」の愛称 おどり部会会則制定
1991 平成3年	第16回	実行本部長 片柳 工 実行委員長 川田 康夫 観客数 700,000 市のできごと 東北新幹線が東京始発となる／塙田トンネル貫通／県総合文化センターオープン／市総合福祉センター開館 前夜祭開催、山車・おはやし部会会則制定
1992 平成4年	第17回	実行本部長 若渡 哲久 実行委員長 菊地 一郎 観客数 250,000 市のできごと アメリカ・タルサ市と姉妹都市提携／釜川改修事業が完了／東図書館がオープン
1993 平成5年	第18回	実行本部長 辻 博明 実行委員長 飯村 悟 観客数 270,000 市のできごと 宇都宮餃子会が発足／清原工業団地にグリーンスタジアム完成／ホリデーパーキング開設
1994 平成6年	第19回	実行本部長 小池 厚之 実行委員長 螺良 昭人 観客数 300,000 市のできごと FM栃木開局／市スケートセンターが城南3丁目にオープン／宇都宮福田屋ショッピングタウン開店 宮っ子みこし開始
1995 平成7年	第20回	実行本部長 坂寄 修一 実行委員長 駒場 謙一 観客数 250,000 市のできごと イタリア・ピエトラサンタ市と文化友好都市提携 干支彫刻完了・節目のビデオ作製

1976 昭和51年	第1回	実行本部長 佐々木 正 実行委員長 荒山 修 観客数 250,000 市のできごと 天皇在位50年式典挙行／アメリカ建国200年祭挙行 開催委員会会則制定
1977 昭和52年	第2回	実行本部長 八城 光男 実行委員長 宮本 泰延 観客数 280,000 市のできごと 瑞穂野工業団地の分譲開始／オリオン通り曲師町アーケード カラー舗装工事完成 みこし部会会則制定
1978 昭和53年	第3回	実行本部長 小林 丘 実行委員長 上野 晃一 観客数 400,000 市のできごと オリオン通り振興組合アーケード カラー舗装完成／会議所事務所を現所在地に移転
1979 昭和54年	第4回	実行本部長 上野 晃一 実行委員長 竹谷 正義 観客数 240,000 市のできごと 第2次オイルショック起る／東武一番通りアーケード カラー舗装完成／国体に合わせ市内ホテル・旅館の増改築行われる
1980 昭和55年	第5回	実行本部長 宮本 匡通 実行委員長 鈴木 孝助 観客数 350,000 市のできごと 第35回国体開催／池上町振興組合アーケード完成／オリオン通り曲師町にスターロード完成／市文化会館完成
1981 昭和56年	第6回	実行本部長 赤羽 尚真 実行委員長 高村 昭 観客数 330,000 市のできごと ニュージージーランド・マヌカウ市（現オークランド市）と姉妹都市提携／駅東口に田原屋オープン／市体育館・文化会館開館
1982 昭和57年	第7回	実行本部長 須藤 隆夫 実行委員長 岩島 和夫 観客数 280,000 市のできごと 東北新幹線（大宮～盛岡）開通／みはし通り商店会街路灯完成 バレード部会会則制定、オープニングにレーザーショーを実施
1983 昭和58年	第8回	実行本部長 鈴木 孝助 実行委員長 宮本 隆昌 観客数 150,000（1日のみ） 市のできごと 駅西口にペDESTリアンデッキ完成／江野町コミュニティー道路完成／市営中央駐車場オープン ミス宮まつりコンテスト開催
1984 昭和59年	第9回	実行本部長 石毛 年資 実行委員長 荒川 之裕 観客数 200,000（1日のみ） 市のできごと 宇都宮テクノポリス開発計画が国に承認／84とちぎ博開催／中国・チチハル市と友好都市提携／人口40万人 大谷石で干支の彫刻開始、クリーン大作戦（清掃）始まる
1985 昭和60年	第10回	実行本部長 笠間 陽一 実行委員長 石田 晃一 観客数 250,000 市のできごと 東北新幹線上野乗り入れ 神社境内で打ち上げ花火



2006 平成18年	第31回	実行本部長 金柿 説生 実行委員長 鈴木 秀範 観客数 250,000 市のできごと オリオン市民広場「オリオンスクエア」がオープン/市制110周年記念式典を開催/大通りにぎわいまつり開催 宮っ子パレード開始(幼稚園児)
2007 平成19年	第32回	実行本部長 石下 光良 実行委員長 永井 紀好 観客数 250,000 市のできごと 宇都宮城址公園が本丸町に開園/うつのみや表参道スクエア(妖精ミュージアム含む)がオープン/上河内・河内町と合併し新宇都宮市に 宮の梵天開始
2008 平成20年	第33回	実行本部長 渡部 修三 実行委員長 山本 和紀 観客数 250,000 市のできごと 栃木県庁舎が開庁/リーマンショック 神社旧鳥居の前で花火
2009 平成21年	第34回	実行本部長 檜山 昌彦 実行委員長 佐藤 康之 観客数 250,000 市のできごと 宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」オープン プロスポーツPRブースの設置
2010 平成22年	第35回	実行本部長 直井 昭佳 実行委員長 神宮 祥臣 観客数 250,000 市のできごと リンク栃木ブレイクス優勝パレード実施/ジャパンカップ・クリテリウムを大通りで初実施 宮まつりグッズ販売開始
2011 平成23年	第36回	実行本部長 徳原 龍樹 実行委員長 赤松 栄紀 観客数 200,000 市のできごと 下野新聞社がオリオン通り沿いにニュースカフェをオープン/東日本大震災に伴う計画停電が実施される/全国スポレク祭とちぎ2011を開催 バンパ広場全面完成、商標登録完了
2012 平成24年	第37回	実行本部長 山本 和紀 実行委員長 本澤 崇 観客数 250,000 市のできごと 東京スカイツリータウンに「とちまるショップ」オープン 宮っ子パレードII保育園参加
2013 平成25年	第38回	実行本部長 福田 治久 実行委員長 金 克彦 観客数 250,000 市のできごと 来らっせ東武宇都宮店がオープン
2014 平成26年	第39回	実行本部長 村上 正高 実行委員長 鈴木 善勝 観客数 250,000 市のできごと ねんりんピック栃木開催 宮っ子パレード東電～上河原で実施
2015 平成27年	第40回	実行本部長 須山 裕史 実行委員長 木村 武士 観客数 市のできごと おたのしみに

※観客数は下野新聞記載の数を参考に算出しました。ほとんどが宮まつり初日土曜日のデータです。

1996 平成8年	第21回	実行本部長 石田 晃一 実行委員長 阿部 照史 観客数 300,000 市のできごと 市制100周年を迎える/中核市となる/農林公園ろまんちっく村オープン/宮環が完成/二荒山神社のライトアップ始まる よさこい開始・百周年ビデオ作製
1997 平成9年	第22回	実行本部長 佐藤 栄一 実行委員長 矢治 和之 観客数 300,000 市のできごと 宇都宮美術館が開館/宇都宮ハルコオープン/市営相生駐車場オープン ポスター原画・ボランティア募集開始
1998 平成10年	第23回	実行本部長 飯村 悟 実行委員長 金柿 説生 観客数 250,000 市のできごと 来らっせオープン/保健所が竹林町に開所 よさこい鳴子の名称を宮っ子よさこいに変更
1999 平成11年	第24回	実行本部長 上野 勝弘 実行委員長 渡辺 明弘 観客数 300,000 市のできごと とちぎテレビが開局/第1回宇都宮餃子祭り開催/宇都宮まちづくり推進機構設立 とちぎテレビで生中継開始
2000 平成12年	第25回	実行本部長 大矢 裕啓 実行委員長 竹内 智祐 観客数 200,000 市のできごと 全国都市緑化とちぎフェアの開催/北関東自動車道の栃木都賀JCから宇都宮上三川ICまで開通/アビタ宇都宮店開店/上野百貨店閉館 和太鼓部会会則制定、開催本部移動(新うえのから)
2001 平成13年	第26回	実行本部長 桜井 啓一 実行委員長 児玉 博利 観客数 250,000 市のできごと 協同組合宇都宮餃子会設立/オリオン通りロフト館跡にフェスタオープン/旧アムス跡に109うつのみやオープン
2002 平成14年	第27回	実行本部長 矢治 和之 実行委員長 長野 方明 観客数 250,000 市のできごと 市内循環バス「きぶな」運行開始/まちづくり交流センター「イエローフィッシュ」開設/西武百貨店宇都宮店閉店
2003 平成15年	第28回	実行本部長 伴 靖 実行委員長 尾嶋 弘行 観客数 250,000 市のできごと ロビンソン百貨店宇都宮店閉店/FKDショッピングモールインターパーク店開店/「来らっせ」ラパーク長崎屋に移転/足利銀行一時国有化 バスザオレンジ実施・我妻兄弟放送開始、おはやし巡行開始
2004 平成16年	第29回	実行本部長 並木 正裕 実行委員長 磯野 浩久 観客数 200,000 市のできごと 宇都宮屋台横丁が日野町通りにオープン/複合商業施設ベルモールがオープン 上河内町、河内町が参加
2005 平成17年	第30回	実行本部長 篠崎 圭一 実行委員長 古舘 英明 観客数 200,000 市のできごと 飛山城址公園が竹下町に開園/宇都宮競馬56年の歴史に幕/109うつのみや閉店 第30回記念打ち上げ花火、DVD作製





祝 第40回 ふるさと宮まつり

# みこし部会

部会長 浜野博彦

# 埴田 睦会

ふるさと宮まつり40年のあゆみ

宮まつり 祝 第40回  
宇都宮市職員 武道親睦会  
**宇都宮振武会**  
剣道部・柔道部  
合気道部・弓道部  
空手道部・少林寺拳法部  
宇都宮市旭1-1-5

祝 第40回 ふるさと宮まつり  
**今小路自治会**  
役員一同

祝 第40回 ふるさと宮まつり  
**一の沢御輿愛護会**  
会長 川口修一

**川向一丁目自治会**  
会長 後藤貢

宮まつり 祝 第40回  
**上四条会自治会**  
自治会長 根本裕之  
.....  
第40回を祝い、一緒に頑張っていきましょう!

祝 第40回 ふるさと宮まつり  
**桜大谷通り自治会**  
小笠原正謹

# 祝 40回 ふるさと宮まつり

であいとふれあいの広場  
UTSUNOMIYA

宇都宮青年会議所創立10周年記念事業として始まった「ふるさと宮まつり」も、皆様に愛され40周年を迎える事が出来ました。今後も宇都宮の為に、未来の子供たちの為に、「であいとふれあいの広場」を作っていきますので、これからもよろしくお願いいたします。

## 歴代宮まつり総括責任者一同

### 歴代宮まつり総括責任者

開催理事長 佐々木 正 [佐々木会計事務所]	第20回 駒場 謙一
第1回 荒山 修	第21回 阿部 照史 [阿部輪業]
第2回 宮本 匡通	第22回 矢治 和之 [株ロココ企画装飾]
第3回 上野 晃一 [有家具の上野]	第23回 金柿 説生 [有石川印刷所]
第4回 竹谷 正義	第24回 渡辺 明弘 [有響屋]
第5回 鈴木 孝助	第25回 竹内 智祐 [株枋舗建設工業]
第6回 高村 昭	第26回 児玉 博利 [児玉税経]
第7回 岩島 和夫 [株岩島]	第27回 長野 方明 [株ガガコミュニケーションズ]
第8回 宮本 隆昌 [株宮本印刷]	第28回 尾嶋 弘行 [有尾嶋造園]
第9回 荒川 之裕	第29回 磯野 浩久 [有磯野商会]
第10回 石田 晃一	第30回 古舘 英明 [株敬友自動車]
第11回 仲野 順一 [株マガミ企画設計]	第31回 鈴木 秀範 [有鈴木板金工業]
第12回 鈴木 雅文	第32回 永井 紀好 [株直喜屋工業]
第13回 宮本 隆昌 [株宮本印刷]	第33回 山本 和紀 [有昌和]
第14回 坂寄 修一	第34回 佐藤 康之 [株マッシュルーム]
第15回 鈴木 康彦 [有エネックス写真事務所]	第35回 神宮 祥臣 [株メディカルコミュニケーションズ]
第16回 川田 康夫 [有川田豊工業]	第36回 赤松 栄紀 [株椿屋]
第17回 菊地 一郎 [株菊地漆器]	第37回 本澤 崇 [株本澤建築設計事務所]
第18回 飯村 悟 [株飯村石材工業]	第38回 金 克彦 [有キング商会]
第19回 螺良 昭人 [県議会議員]	第39回 鈴木 善勝 [株クールライフ]

ふるさと宮まつり40年のあゆみ



埼玉 埼玉会  
株式会社  
**町田建塗工業**  
代表取締役 町田卓大  
〒320-0027  
宇都宮市塙田3丁目1番18号  
TEL 028-622-3264  
FAX 028-622-3265

埼玉 埼玉会  
株式会社  
**池田亀次郎商店**  
代表取締役 池田恵樹  
〒320-0027  
宇都宮市塙田3丁目1番4号  
TEL 028-622-8991  
FAX 028-622-8192

YAMANAI  
山ニクリーニング有限公司  
代表取締役 上野裕司  
〒320-0027  
宇都宮市塙田4-9-5  
TEL 028-622-8589  
FAX 028-622-8617

祝  
第40回 ふるさと宮まつり  
**雀宮神社**  
氏子総代長 若林昌次  
〒321-0132  
宇都宮市雀の宮6丁目3-8  
TEL 028-653-1932  
FAX 028-653-2862

祝  
第40回 ふるさと宮まつり  
**城子連**  
会長 大槻一徳

祝  
第40回 ふるさと宮まつり  
**清原神輿会**  
会長 赤羽充雄

祝 宮まつり四十周年  
  
**田代武道具店**  
創業昭和五年 塙田交差点東入ル

埼玉 埼玉会  
高圧ガス・溶接機械  
工作機械・電動工具  
**古宮酸素株式会社**  
宇都宮市塙田4-7-11  
☎622-4646(代)  
FAX 627-3424

埼玉 埼玉会  
**呑処じんた**  
影山 剛  
〒320-0014  
宇都宮市大曾1-8-10  
阿子鳥ハイツ101  
TEL 028-307-3588

宮まつり 祝 第40回  
**古田金剛会**  
会長 富田明史  
宇都宮市少林寺拳法協会



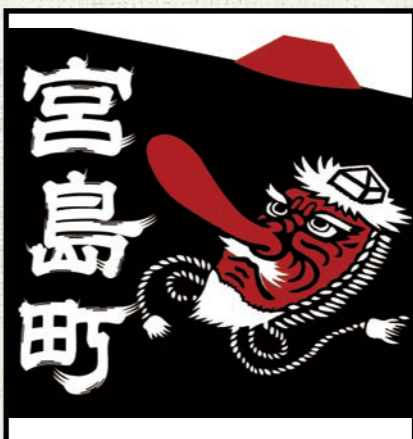
祝 第40回 ふるさと宮まつり  
宇都宮二荒山神社のおひざ元  
**バンバ通り商店街**  


埼玉 埼玉会  
有限会社  
**高橋五郎平商店**  
代表取締役 高橋幹央  
〒320-0041  
宇都宮市松原1丁目1-10  
TEL 028-622-6927  
FAX 028-627-5926

埼玉 埼玉会  
株式会社  
**高崎工務店**  
代表取締役 高崎英雄  
〒320-0024  
宇都宮市さるやま町224-5  
TEL 028-657-5201  
FAX 028-657-0212

埼玉 埼玉会  
株式会社  
**全国チェーン竜鳳**  
代表取締役 鈴木亮裕  
〒321-2118  
宇都宮市新里町甲445  
TEL 028-652-3004  
FAX 028-652-3047

祝  
第40回 ふるさと宮まつり  
**宮園東栄会**  
会長 福田二一



祝  
第40回 ふるさと宮まつり  
**神輿愛好會 宮壹會**  
宮まつりと共に 発足40周年  
会長 根岸敬静

埼玉 埼玉会  
**防犯システム**  
放送設備／音響設備／電話・LAN設備／空調設備(エアコン・換気扇)／給排水(水回り)  
**防犯カメラのご相談は弊社へ!! 0120-37-083**  
  
**メディカルコミュニケーションズ**  
〒320-0843 宇都宮市花園町2-3 0839ビル FAX:028(636)8438

祝 第40回ふるさと宮まつり  
  
会長 阿部照史  
会員一同

**會員募集**  
  
**横川神輿會**  
mail@yokokawa-mikosi.net

祝40周年  
**八坂神社 神輿奉賛会**  
会長 小寺威夫

ふるさと宮まつり40年のあゆみ

ふるさと宮まつり40年のあゆみ



■ Gallery Office An

**A** 一級建築士事務所 株式会社 安藤設計  
Ando Architectural Design Office

〒320-0012 栃木県宇都宮市山本1-3-14  
E-mail: andoarc@beige.ocn.ne.jp  
URL: http://ando-sekkei.jp/  
TEL: (028)625-2875 FAX: (028)625-3815

であいとふれあいの広場

UTSUNOMIYA

ふるさと宮まつり開催委員会

祝  
第40回 ふるさと宮まつり

二荒山神社  
氏子青年会

会長 横山 伸太郎

祝  
第40回 ふるさと宮まつり

二荒山神社  
神輿保存会

会長 関口 和良

祝  
第40回 ふるさと宮まつり

二荒山神社  
神輿保存会

名誉会長 齋藤 公則

祝 第40回 ふるさと宮まつり

地域と共に はぐくむ

PLANNING & PRINTING COMMUNICATION

有限会社 石川印刷所  
〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町9-21  
TEL:028-635-5681(代) FAX:028-633-0288

足利銀行

あしぎん | 検索

祝 第40回 ふるさと宮まつり

吉 小 徳 新 中 竹 小 小 小 佐 新  
兵 門 次 弥 徳 松 松 松 作 宿  
衛 流 郎 流 林 流 流 流 流 流  
流 桜 下 徳 次 御 子 子 子 子  
田 田 お 町 郎 屋 子 子 子 子  
下 お 上 町 台 雑 子 子 子 子  
お 雑 子 子 子 子 子 子 子 子  
子 保 存 存 存 存 存 存 存 存  
会 会 会 会 会 会 会 会

宇都宮市お囃子連合会

宇 都 宮 市  
お 囃 子 連 合 会

有限会社 伊志佐岐

代表取締役 石崎 龍

宇都宮市中央2丁目1番3号  
TEL 028-633-1877  
FAX 028-635-7005

故郷は温かい 今を生きる心の季刊誌

いもつけの心

季刊誌、春夏秋冬発行

ふるさとの文化活動を支援します。

株式会社 井上総合印刷  
本社: 〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町1355番地  
TEL:028-661-4723代/FAX:662-7607

宮まつり 祝 第40回

ふるさと宮まつり  
郷土芸能部会

これからもみんなで  
ふるさと宮まつりを  
盛り上げていきましょう!

祝 記念誌発行

であいとふれあいの広場  
ふるさと宮まつり40周年記念

宮まつり和太鼓部会

部会長 矢 部 興 一  
副会長 小 室 忠 史  
理 事 小 野 崎 博 一

丸伊呉服店

代表取締役 増淵 好次郎

〒320-0025 宇都宮市宮町3-11  
TEL 028-622-3490  
FAX 028-622-3489  
www.marui-gofuku.co.jp

江戸時代後期の 当店の印禅天

祝40年

宇都宮オリオン通り商店街振興組合  
理事長 長島 俊夫

〒320-0001 宇都宮市江戸町十丁目  
栃木の大地所ビル2階  
電話 0120-111-1010  
http://www.orion.or.jp

宮まつり 祝 第40回

宇都宮鳶 宇都宮鳶  
工業組合 木遣り保存会

組合長 会長  
青木 信夫 古川 芳男

宮まつり 祝 第40回

ふるさと宮まつり  
おどり部会

部会長  
富士 一千代

宮まつり 祝 第40回

ふるさと宮まつり  
おどり部会

部会長  
富士 一千代

ふるさと宮まつり40年のあゆみ

ふるさと宮まつり40年のあゆみ



有限会社 **サエラ** 不動産賃貸 賃貸販売

うつのみやの街づくりを  
応援します!!

代表取締役 **坂本 明**

栃木県宇都宮市宿郷2丁目10番5号  
TEL:028-634-0664

**コクヨ北関東販売株式会社**

代表取締役 **船田 雅弘**

〒321-0911  
宇都宮市問屋町3172番地48  
TEL 028-656-5561  
FAX 028-656-5217

**光陽電気工事株式会社**

代表取締役社長 **飯村 慎一**

〒320-0061  
宇都宮市宝木町2丁目880番地  
TEL 028-652-6000(代)  
FAX 028-652-6009

ふるさと宮まつり  
40年  
おめでとうございます

**上野文具**

栃木県宇都宮市池上町5-2  
☎028-633-6181  
www.uebun.com

うつのみや ぎょうざ  
**宇都宮餃子**  
協同組合 宇都宮餃子会

ご宿泊・ウェディング・ご宴会・お食事会に  
**宇都宮東武ホテル**  
クラブ

ブライダルフェア 随時開催・参加無料

ご予約・お問い合わせは  
TEL 028-627-0111  
〒320-0033 栃木県宇都宮市本町5-12  
宇都宮東武ホテルクラブ

**宮まつり 祝 第40回**

「宇都宮市民の心意気」 「家族での思い出」 「誇れるまちの最高の夏祭り」

沿道のにぎわいと感動の連続が  
楽しみです!

両親とそして子どもと  
応援し続けてきました!

第36回・37回 ふるさと宮まつり  
開催委員会 事務局長

**齋藤 郁恵** **齋藤 純子** **齋藤 昭夫**

総合緑化工事

**有限会社 尾嶋造園**

代表取締役 **尾嶋 弘行**

〒321-0114 宇都宮市中島町726-2  
TEL 028(653)0981  
FAX 028(655)3064

宮まつり 祝 第40回  
**大谷資料館**

館長 **鈴木 洋夫**

〒321-0345 宇都宮市大谷町909  
Tel 028-652-1232  
Fax 028-652-4851

**(株)越後屋**

高橋 淳

〒320-0806  
宇都宮市中央1-9-6  
TEL 028-633-6513  
FAX 028-635-9786

菓|心|庵  
**高林堂**

和菓子と、  
美味しさと、  
笑顔のおもてなし

本店	宇都宮市馬場通り3-4-18	電話 633-4946
海道店	宇都宮市海道町 169-7	電話 613-5556
陽東店	宇都宮市陽東 2-4-11	電話 662-8777
氏家店	さくら市氏家 2942-7	電話 681-7771
東武店	東武百貨店1階	電話 636-3022
JR店	駅ビルグランマルシェ内	電話 650-7676

**川村公認会計士事務所**

公認会計士・税理士  
**川村 寿文**

宇都宮市桜2丁目4番1号  
TEL 028-621-6321  
FAX 028-621-6337

**株式会社カンセキ**

代表取締役 **長谷川 静夫**

〒321-0158  
宇都宮市西川田本町3丁目1番1号  
TEL 028-658-8123  
FAX 028-659-3678

◆祭衣装・豊富取り揃え中◆

神籠・鯉口シャツ・腹掛  
夕泊シャツ・股引・帯  
足袋・雪駄・袋物・小物  
手ぬぐい・他  
祭組チームのオーダーも  
承ります。

**ベビーショップカネヤ**

宇都宮市オリオン通りTEL028-633-6518

健康ぶどう酢  
**ビワミン**

宇都宮市問屋町  
3172-28  
**小林商事(株)**  
☎656-2755

pâtisserie  
**kojima**  
UTSUNOMIYA TOCHIGI  
有限会社 小島屋

代表取締役 **小島 則孝**

〒320-0805  
宇都宮市中央本町4番22号  
TEL・FAX 028-633-6448

**KIRIN**

ふるさと宮まつり40年のあゆみ

ふるさと宮まつり40年のあゆみ





ビル総合管理  
**株式会社大高商事**  
DAIKOH 国際標準規格 ISO9001-14001 認証取得

本社:〒320-0075 宇都宮市宝木町1474番地5  
TEL:028-665-1911 / FAX:028-665-1919  
<http://www.daikoh.net>

支店 東京・小山・仙台  
営業所 福島・群馬・真岡・佐野・今市・鬼怒川・東北・県南



生どら焼き  
とちおとめ2倍

自家製とちおとめのジャムに生クリームを混ぜ合せほんのり酸味のきいた超人気商品です。

ふるさと宮まつり 戸祭元町店  
御菓子司 餅全 0120-275-030

完全個別指導型フィットネスジム  
**トータルフィットネスサポート**

一人ひとりの目的・経験・年齢・体力等に合わせた最初から最後までマンツーマンでご指導いたしますので、どなたでも安心してご利用いただけます。

無料個別カウンセリング実施中!

宇都宮市御幸ヶ原町62-5東ビル1F  
TEL 028-611-1670

株式会社  
**中央保険事務所**

代表取締役 見木 洋一

〒320-0806  
宇都宮市中央1-5-12  
TEL 028-637-3434  
FAX 028-637-4693

大工町自治会  
大工町大通り商店街連盟

**下野新聞社**

宮まつり 祝 第40回  
**少林寺拳法**  
金剛禅総本山少林寺  
栃木瑞穂道院

宇都宮市西刑部町2028  
Tel/Fax 028-656-2748

お客様・地域社会・環境とともに  
**ホテルサンルート宇都宮**

代表取締役 坂本 守 弥

宇都宮市駅前通り丁目5番2号  
TEL:028-621-3355

預けて  
愉快だ  
宇都宮

UTSUNOMIYA

**栃木信用金庫**  
<http://www.shinkin.co.jp/tochigi>

一般社団法人  
**栃木県建築士事務所協会**

会長 佐々木 宏幸

〒320-0032  
宇都宮市昭和2丁目5番26号  
TEL 028-621-3954  
FAX 028-627-2364

**とちおとめ**  
感性、鮮度、郷土。地元でウオッチ!



株式会社  
**竹石紙店**

代表取締役 竹石 拓央

〒321-0911 宇都宮市間屋町3172-41  
TEL 028-656-1235  
FAX 028-656-6927

祝  
第40回 ふるさと宮まつり

**有限会社 精晃社**

代表取締役 高橋 和典

〒320-0811  
宇都宮市大通り1丁目4番6号  
TEL (028) 622-0565 番(代)  
FAX (028) 634-5462

2015年3月14日開業



上野東京ライン

宇都宮から  
東京・横浜・熱海方面へ  
ダイレクトアクセス!

JR 東日本 大宮支社

First for You  
あなたとともに

**栃木銀行**  
<http://www.tochigibank.co.jp>

東京スカイツリー®  
天望デッキ入場券付き  
お得な“パノラマきっぷ”  
駅にて好評発売中!



おでかけは便利な東武特急で!

東武宇都宮

**鳥貞&風見鶏**

代表取締役 今泉 知明

宇都宮市中央1丁目6番9号  
TEL 028-633-4105  
FAX 028-633-4106

ふるさと宮まつり  
40周年おめでとうございます

暮らしと未来を考えるライフライン事業

**株式会社 須山液化ガス**

本社 / 〒320-0027 栃木県宇都宮市塙田 3-1-16  
TEL 028-622-3338(代) FAX 028-627-6222



祝  
「宮まつり 40回」  
おめでとうございます。

株式会社 宮本印刷  
MIYAMOTO PRINTING CO.,LTD  
〒320-0818 栃木県宇都宮市加1-4-1 B  
TEL.028-634-1277(代) FAX.028-634-7458

(有)ミスズ洋装店

代表取締役 広瀬 一郎

〒320-0803  
宇都宮市曲師町2-12  
TEL 028-634-5883  
FAX 028-638-8224

わたしたちKMGグループは  
確かな技術と信頼で  
お客様の夢と暮らしを  
なが〜いお付き合いで  
サポートします。

と KMGグループ  
株式会社 増 潤 組  
〒321-0933  
宇都宮市築瀬町2500-15  
TEL 028-633-7373 (代)  
お客様相談室 0120-33-7376  
地域社会に貢献 KMGグループ

ぬくもりある心のふれあいを大切にしています。  
すべては、お客様に心地いい時間を過ごしていただくために。  
東武百貨店はおもてなしの心で  
親切一番店を目指します。

TOBU 宇都宮 東武  
宇都宮市宮園町5-4 〒320-8560  
TEL.代表/028-636-2211  
<http://www.tobu-u-dept.jp/>

営業時間：午前10時～午後7時

生命を科学する  
マルサンバイオ株式会社

代表取締役 浜野 博彦

マルサンバイオ(株)は  
宮まつりを応援しています

本社 〒320-0815 栃木県宇都宮市中河原町3番地16 Tel 028-612-3020 Fax 028-612-3021  
大阪支社 〒581-0851 大阪府八尾市上尾町5-25 Tel 072-924-8708 Fax 072-924-8731

FUTABA

新しい・楽しみ・喜びをお届けする  
フタバ食品株式会社  
futabafoods.co.jp

(株)フケタ設計

代表取締役 三柴 富男

〒320-0014 宇都宮市大曾1-5-8  
TEL 028-622-8928  
FAX 028-622-0850

HOTEL NEW ITAYA  
ニューイタヤ 検索

笑顔あふれるおもてなし

ホテルニューイタヤ 駐車場完備【200台収容】  
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2丁目4番6号  
TEL 028-635-5511 <http://www.newitaya.com>

U! ユーキャン  
CAN  
Universal Community Action Network  
地域情報化が私たちの使命です。

米丸 丸治

創業伝承  
三百年の宿  
〜心からの  
おもてなし〜

宇都宮市泉町1-22  
東武駅前  
TEL 028-621-2211  
<http://www.maruji.jp/>

土地と住まいのコンサルタント  
マロニエ不動産株式会社  
栃木県知事第(6)3447号

代表取締役 倉持 松治

〒320-0811  
宇都宮市大通り4丁目2番16号  
TEL 028-622-5001(代)  
FAX 028-627-4313

宮まつり 祝 第40回  
ヘア-ファクトリー ヒロセ

髪をピシッときめて  
宮まつりへ行こうぜ!

宇都宮市中央1-4-7  
\*\*\* 予約優先 \*\*\*  
受付時間 9:00~18:30  
☎ 0120-34-9775  
☎ 028-639-9775

総合建設コンサルタント  
日昌測量設計株式会社  
NISSHOU SURVEYING DESIGN CO.,LTD

代表取締役社長 小林 裕

本社/〒321-2114 宇都宮市下金井町661-3  
TEL: 028-666-2400 FAX: 028-666-2401  
支店・営業所/東京支店 埼玉支店 茨城支店 群馬支店  
日光営業所 さくら営業所 鹿沼営業所 栃木営業所



# ふるさと宮まつり 40年のあゆみ

平成27(2015)年4月 発行

[編集・発行] 特定非営利活動法人  
宇都宮まちづくり推進機構  
宮再発見専門委員会

〒320-0806  
栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号  
栃木県産業会館2階  
TEL. 028-632-8215  
FAX. 028-636-7421

[協力] ふるさと宮まつり開催委員会  
宇都宮観光コンベンション協会  
下野新聞社

[印刷・製本] 有限会社 石川印刷所

印刷、製本には注意を払い行っておりますが、万一乱丁・落丁があった場合にはご連絡をお願いいたします。



思いっきりローカルに限りなくグローバルに  
—地産・地流・地消—

栃木県産の果実や野菜を使用した本格派カクテル「宇都宮カクテル」をはじめ、いつの時代もニーズにマッチしたお酒をお届けします。

## 株式会社 横倉本店

本社/宇都宮市問屋町3172番地6 TEL(028)656-7777代 FAX(028)656-8888  
URL <http://www.yokokura.co.jp> <http://osakenet.tv/yokokura> (オンラインショッピング)

鹿沼支社/鹿沼市流通センター64番地 TEL(0289)76-0777代 FAX(0289)76-0888

## 渡辺正昭税理士事務所 (有)ティー・エム・オー

所長/代表取締役 渡辺 正昭

〒320-0092  
宇都宮市若草4-9-5  
TEL 028-627-1971  
FAX 028-627-1972

人と空気と水の調和  
豊かな暮らしを演出する  
環境エンジニア



空調・衛生設備 設計・施工  
和田工業株式会社  
代表取締役 和田 均

〒321-0962 栃木県宇都宮市今泉町21  
TEL 028-621-0511 FAX 028-621-9047  
URL <http://www.wadakogyo.com>

天然温泉・薬石岩盤浴  
底の湯 **KISEKI** 宇都宮

15種類の薬鉱石&  
かけ流し天然温泉100%の岩盤浴

Detox & Relax



問い合わせ先  
宇都宮店：028-651-2655  
宇都宮市築瀬町1910-1  
真岡店：0285-80-7411

## 宮まつり 祝 第40回

宇都宮まちづくり推進機構  
総務部会

### 宮再発見専門委員会

委員長 陣内雄次  
宇都宮大学 教育学部 教授  
家政教育専攻  
住環境・まちづくり研究室

ふるさと宮まつり40年のあゆみ

本誌作成にあたり多くの方にご協力を賜りました。  
この場をお借りしてお礼申し上げます。